

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月23日

大分県知事
佐藤 樹一郎 殿提出者
住 所 別府市大字別府字野口原3088番27
氏 名 別府市長 長野 恭紘
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0977-67-4261

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	別府市中央浄化センター
事業場の所在地	別府市亀川東町1363番46
計画期間	令和7年4月1日 から 令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	下水道課
②事業の規模	
③従業員数	29名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	終末処理場から排出される産業廃棄物(汚泥)は、ベルトプレス脱水機で脱水した脱水ケーキである。排出された脱水ケーキは、排出先で再利用している。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排 出 量	3,145 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥（脱水ケーキ）の含水率を下げて、排出量を削減できるように取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（固形燃料化）
	排 出 量	1,162 t	2,088 t
	(今後実施する予定の取組) 令和7年度から大分県広域化・共同化計画により、大分市（汚泥固形燃料化事業→最終は有償売却）へ汚泥（脱水ケーキ）の搬入をします。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥（脱水ケーキ）の含水率を下げるようにしている。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続して汚泥（脱水ケーキ）含水率を下げるように取り組んでいく。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	3,145 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	3,145 t	t
	再生利用業者への処理委託量	3,145 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
安定的に持続的に汚泥（脱水ケーキ）を再利用していく方法を検討している。			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	汚泥（固形燃料化）
	全処理委託量	1,162 t	2,088 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1,162 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,162 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
令和7年度から大分県広域化・共同化計画により、大分市（汚泥固形燃料化事業→最終は有償売却）へ汚泥（脱水ケーキ）の搬入をします。			
※事務処理欄			